



人権週間

校長 田淵 恵子

「おはようございます。」子どもたちと交わすあいさつには、心を和ます力があります。

今年度の児童会スローガン「明るいあいさつ 元気あふれて夢いっぱい つづきの丘の仲間達」の実現に向けて、計画委員会では、11月からあいさつ運動を行っています。朝、各教室の前では、計画委員会の子どもたちが、登校してくる子どもたちにあいさつをしたり、どれくらい進んであいさつができてきているかを調べたりと、学校中にあいさつを広めようと働きかけています。あいさつは、心をつなぐ合い言葉です。日頃から、笑顔であいさつを交わすことのできる学校でありたいと思います。



さて、12月10日は、国際連合が定めた「人権デー」です。それを受けて毎年、12月4日から10日までを人権週間として定めています。今年も、啓発活動重点目標を「『誰か』のことじゃない。」として全国的に啓発活動を展開し、人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。本校では、日々の教育活動の中で、命の大切さや思いやりの心について考え、育んでいます。特に、人権週間の前後では、道徳を中心として人権に関する学習を行い、人権について考える機会を設けています。人権週間にあたり、改めて三つのことを大切にしたいと考えます。

一つ目は、「自分を大切にすること」です。自己肯定感や自信をもって物事に取り組み、困難を乗り越える力の源となります。自己理解を深め、自分をかけがえのない存在として大切にすることを育みます。子どもたちには、「自分には良いところがある」と胸を張り、夢や希望に向かって力強く歩んでほしいと願います。

二つ目は、「周りの人を大切にすること」です。この度の全国学力・学習状況調査の結果、本校の子どもたちは、友達と積極的に関わることができているという傾向がみられました。子どもたちは、日々の生活の中で、友達と一緒に活動することへの良さや楽しさを高く感じているようです。

人は、周りの人たちと関わり合いながら生きています。ですから、周りの人たちを大切にすることは、自分を大切にすることにもつながります。周りの人と共により良く生きることができるよう、相手の立場や気持ちを思いやり、行動できる優しさを大事に育んでいきます。

三つ目は、「命を大切にすること」です。命は誰でも平等に、一人に一つしかありません。そして、その命は、自分だけのものではないのです。自分も周りの人の命も、大事に育まれた“宝物”なのです。そのかけがえのない命を、互いに尊重し合いながら生きていこうとする態度を育んでいきます。

以上、三つのことに重点を置いて、人権意識を高めていけるよう取り組んでまいります。まずは、日々の学校生活の中で、笑顔であいさつすること、友達と仲良くすること、困っている人がいたら声をかけることなど、

今、できることから始めていけるよう後押しをしていきます。ご家庭でも、ぜひ人権について話題にさせていただけたら幸いです。

互いにかけがえのない存在として認め合い、あたたかいかわりの中で、年末を迎えたいものです。



トットトット

はじめて聞いたあなたの心音

ああ、命なんだな

ここにあるのは、命なんだな

それがたとえどんな命でも

私はこの命を守ろう

～6年「命の授業」より～

「トツキトツカ YOKOHAMA」

いのちの物語（一部抜粋）